



JR東労組 八王子

HACHIOJI



ホームページ

発行責任者

執行委員長 針谷 歩

2020/12/23 No.7

2020年度営業関係施策(その3)について 12月23日 提案を受ける! ②

◇席上議論した内容

組合 標準数減少の根拠及び、サービス担当や収入金担当を廃止する根拠は？

会社 NF2008 施策から10年以上が経過し、券売機購入へシフトし、お客さまへの機器類の使用についても定着してきている。Eチケットなど購買方法の変化なども鑑みて体制見直しを行う。すでに役割を一定程度終えていると考えている。指定席券売機についても50箇所
に95台を配備し、充実させてきている。

お客さま案内は重要であるということ是不変ならない、柔軟な作業ダイヤ等を検討し、お客さまの対応を可能にしていくなど、社員一体となった体制を構築していく。

組合 サービスレベルの維持向上は重要課題であり、施策実施に必要な観点ではないか？

会社 サービスレベルの維持向上はもとより、新たな働き方の実現や多様性のある働き方に対応を可能とする施策としていく。短時間勤務などにも対応し、出札業務を波動的に行うなども考えていきたい。

組合 窓口営業時間の短縮における利用状況等の把握を実施していくべき。5駅以外について体制を見直していくことを検討していくのか？

会社 利用状況の把握を行ったうえで、現場とも相談したうえで、実施可能と判断してきた。5駅以外についての要員体制は今施策においては維持することとなる。将来的にもないかということはないとは言えない。

組合 指定席券売機の充実と言われていたが、現行の5駅における配備状況は？また、増配備していく計画はあるか？

会社 三鷹駅3台、国分寺駅3台、立川9台（ホーム含む）、八王子駅8台（ホーム含む）、甲府駅11台（ホーム含む）であり、現行通りの配備数で十分対応可能であると考えている。

組合 出札業務を経験する社員の減少や技術継承の観点からも教育は重要であると考えているが会社としての考えを示してもらいたい。

会社 現行のある研修や教育を縮小させようという考えは現段階ではもっていない。今後情勢等を鑑みて検討する可能性はあるが、しっかりと教育についても取り組んでいく考えである。

真摯で建設的な議論創り出すため、組合員の声から団体交渉を行っていきます。